

援しながら、この線への町営バスの接続に配慮します。

富地域については、町営バス中谷線への接続と、真庭市運行のコミュニティバスへの接続を試行中です。

★町内の児童、生徒のパソコンや携帯電話の利用実態は、利用や有害サイトについての指導はなされているのか。有害サイトの「サイバーパトロールモニター」の設置に町から働きかけができないのか。

学校で把握している範囲で、全児童・生徒1,110人のうち、約4割がパソコンを所持、インターネット接続が3割、携帯電話の所有は1割程度です。パソコンの主な利用目的は、ゲーム、メール、DVDによる映画鑑賞が多く、中にはインターネットによるチャット（掲示板書き込みや閲覧）もあるようです。携帯電話の学校への持ち込みを禁止していますが、実際は持ってきている児童・生徒もいるようです。

学校のパソコンは、セキュリティ対策行って、児童・生徒にとって有害なサイトへの接続を制限するなどの措置をしています。家庭では、保護者による十分な指導と、有

害サイトへアクセスできないようにフィルター等の策をとってもらうことが必要です。中学校においては、技術家庭科等の授業を通して、取扱いについて文部科学省の指導要領より厳しく、有害サイトを含めたインターネットやメール等の利便性、危険性について指導しており、小学校においても学年に応じた内容で指導しています。

今年11月に岡山県警が設けたサイバーパトロールモニターは、民間ボランティアに有害サイトや違法サイトの情報収集をしてもらい、摘発排除を行うことにより犯罪を予防するというものです。各警察署の推薦による34名が委嘱され、任期は2年です。県警単位で設置されるもので、市町村単位では制度化されていませんが、今後警察等からの呼びかけがあれば、検討していきます。

★町立病院に導入されたMRIの利用状況と検査料、年間の維持費について。

導入した今年3月から11月末までの延べ件数は940件、月平均110件の利用がありました。診療科別では内科・小児科231件、整形外科7

03件、耳鼻咽喉科11件で、部位別では頭部227件、頸椎・腰椎等510件、肩・膝等の関節関係89件、腹部・骨盤14件で、特に整形外科の診断が多くを占めています。

検査料は、撮影料、画像診断料を合わせた15,300円とフィルム代が必要で、窓口負担で3割の保険が適用されて5,000円前後をいただくこととなります。

維持費として、装置の保守点検費用が300万円から600万円程度の4段階あり、2年間の無償保守期間の満了する日までに、保守内容を検討します。

★芳野保育園について、受け入れできる人数はどれぐらいか。来年4月に入園する園児は何人か。保育士の数は法定数を満たしているのか。教室の広さ等の基準はあるのか。行事等で全員が集まる遊戯室が満杯状態であるが、対策は考えているのか。

受け入れ可能人数は138人、12月現在の入園希望者数は128人です。

保育士数は、7ヶ月以上の0歳児は3人につき1人、1・2歳児は6人につき1人、3歳児は概ね20人につき1人、

4歳児以上は概ね30人につき1人という基準があり、その法定数を遵守しています。発達障害児の対応もしていかなければなりません。

保育室の広さの基準は、0・1歳児は一人につき3.3㎡、2歳児以上は一人につき1.98㎡となっており、基準内です。

遊戯室については、保護者を含めると全員は入れない状態です。0歳児が増えて乳児室が手狭になっていることもあり、増設を含めて検討しているところです。

★上齋原地域に気象観測局を設置してはどうか。

有線テレビにおいて、奥津、羽出、井坂、富東谷、大の5地点で観測したデータをもとに気象情報を放送しています。上齋原地域は豪雪地帯に指定され、厳しい生活実態があります。町全体の配置や財源等と合わせて検討していきます。

★人形峠の近隣で鳥取県方面地区のウラン残土を用いたレンガ加工工場を建設し、製造されるが、日本原子力研究開発機構から町に説明がなされたのか。

原子力機構は事業所内での製造を考えたようですが、岡

山県との感触が良くないので、事業所に近い三朝町の鳥取県有地で製造を計画しました。当町へは、18年度当初「方面問題の今後の対応」として話を聞いております。

★ごみ問題について地域住民の理解を得るため、積極的に住民と対話する必要があるのではないかと。ごみ削減のため、一層の分別収集と資源化を図り、建設コスト、ランニングコストの削減につなげるべきではないか。ごみ減量化のため、広域のごみ減量化等審議会を設置して協議する必要があるのではないかと。

地域住民の安心、安全への配慮が最優先と考えており、協議会等で強力に発言していくことで理解を得たいと思っています。

ごみの減量はランニングコストの削減につながりますので、一層の分別収集、資源化の推進に努めます。

ごみ減量化のための審議会の設置は、必要であれば、協議事項の一つになるかと思っています。